

令和 5 年 6 月 5 日

東京グローバルビジネス専門学校
学校長 佐々木 由 殿

学校関係者評価委員会

第 4 回 学校関係者評価委員報告書

2023 年度学校関係者評価につき、下記の通り報告します。

記

1 開催状況

日程 : 令和 5 年 6 月 1 日 (木)

会場 : 東京グローバルビジネス専門学校 202 教室

2 報告内容

別紙の通り

以上

1.『教育理念・目標』について

・昨年の委員会時点では理念を整備し、まさに浸透を図ろうとしていたステージであったが、その後、浸透施策を実施し一步一步あゆみを進めていることがうかがえ、その姿勢には好感が持てる。

・一方、その理念を具現化することが次の課題であると認識している。専任教職員への浸透だけにとどまらず、兼任の教職員や学生、学校関係者にも浸透機会を提供して欲しいと考える。

2.『学校運営』について

・学校運営の目的や目標を達成するための数値目標の設定について質問を投げかけた。学校として運営を意識した数値目標の設定があったので、その達成に向けた努力を継続していただきたい。

・地域社会に対するコンプライアンスについて具体的に日々意識していることを問うたが、その回答も納得のいくものであったため、引き続き体制の整備、強化を期待したい。

3.『教育活動』について

・教職員の知識やスキルの向上、学生の満足度向上を目的に行っている『学生アンケート』の実態について確認をさせていただいた。兼任の教員に対してどこまで責任を持つのかは難しい側面はあるが、回答を聞く限り、前述の学生アンケートについても有効に活用できていることがうかがえた。今後とも学生の満足度向上のために、教育活動体制の強化をはかっていただきたい。

4.『学習成果』について

・実際に起業した卒業生が出てきたことが大きな成果であると考え。一方、その情報をいち早く把握し、有効に活用することで学修支援及び広報活動の双方で良い効果を作りたい。

・卒業生とのネットワーク構築については、過年度からの課題であると認識をしている。その課題解決に向け、具体的な施策を尋ねたところ、卒業生連携のための新規チームを稼働させたとの回答があった。実施内容の整備はこれから深耕をしていただきたいが、その取り組みは評価したい。

・学修の成果をはかるため、『就職率』を指標とした質問を投げかけたところ、直近もまた約 96%という高水準を維持できていた。留学生の話で言えば、東京都の専門学生の就職率の2倍以上の成果を出している点は高い評価に値する。

5.『学生支援』について

・退学率の低減に苦戦している印象。実態を確認する限り、学校として退学率の防止について、やるべきことは行っていることはうかがえる。在籍学生への退学防止施策は勿論必要であると考えるが、例えば、今後は、入学前の段階で『卒業後の進路希望』や学習意欲を確認する必要性があることも提案をさせていただいた。

6.『教育環境』について

・防災・安全管理体制の整備、見直しを推奨。現時点での体制をより強化することで、入学者や在校生、更にはその保護者の安心感を獲得していただきたい。その整備が退学率の低減や募集活動の成果向上にも繋がってくることを提言させていただいた。

・校外実習やインターンシップの実情について確認をさせていただいた。実際のところ、その活動の停滞は学校の課題として認識している。一方、その外堀を埋めるように、希望する学生が出てきた際、必要となるであろう『学生保険制度』を整備した点は良い取り組みであるように思われる。

7.『学生募集と受入れ』について

・これまで行ってきた内容については、特筆すべき課題は感じられない。しかしながら、日本人募集施策の更なる強化には期待したい。

8.『財務』について

・更なる財務基盤の安定のため5の課題として挙げている中途退学の対策が必要と考える。

9.『法令等の遵守』について

・現状の運用に問題はなく、記載事項に総合的に同意できる。

10.『社会貢献・地域貢献』について

・現状の運用に問題はなく、記載事項に総合的に同意できるが、日本人学生と留学生がともに学んでいるという良さを『特色として生かした』社会貢献、地域貢献方法の模索は行っていただきたい。

以上